

新潟市老人福祉センター いこいの家楽友荘

令和5年度年次報告書

指定管理者 株式会社関越サービス

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、老人福祉センターにおいても徐々に日常に戻る中での運営となりましたが、1年間大きな事故、大きなトラブルもなく、無事管理運営ができました。

- ・年間の利用者数が26,015人と前年から2,914人増加（昨年度対比112%）でした。また、ベンチマークとして考えてきましたコロナ流行前入館者数対比につきましても、100%目前まで来ることができました。（令和元年度対比99.2%）。
入館者数が前年越えできた要因としては、「お風呂大好き選手権」「秋の湯めぐりスタンプラリー」を通して、関越サービス管理下の9施設を各施設利用者様が楽しんで他施設を回遊して下さった結果と考えております。
また、白寿荘の浴場休止期間中、白寿荘の利用者様が代替施設として楽友荘を利用頂いたことも要因の一つと考えられます。
その結果、ビンゴ大会動員数につきましても、年間398人の動員を図っており、1回あたり平均参加人数33人と大幅増となっております。
- ・緊急時における連絡体制を確立し、救命講習の受講や消防訓練等を実施し全職員に統一した危機管理意識を持たせています。
- ・施設本体や設備に係る修繕を行い、建物の安全や延命化を図りました。
- ・施設恒例のイベントとして、変わり湯を毎週開催し、年間を通して変わり湯をお楽しみ頂くとともに、月1回のビンゴ大会、骨密度の無料測定会を開催し、ご利用者の利用満足度向上を図りました。
- ・ご利用者の要望等を管理運営に活かすため「アンケート箱」を常時設置し、15件の回収がありました。
- ・外注委託費等の経費削減を図るため、自社で行える業務はできるだけ自社で行いました。

次年度の取り組み

- ・R5年度大好評を頂きました「秋の湯めぐりスタンプラリー」「お風呂大好き選手権」を起爆剤にさらに大勢の利用者様に楽しんで頂く予定としております。
- ・現場スタッフとの連絡やミーティングを増やすことで状況の把握をより確実なものとし、それによって、ご利用者の満足度向上を図り、入館者数の増加に努めていきます。
- ・建物や施設設備に関して、巡回・点検・調査を定期的実施し、早めの修繕で建物全体の延命化を図ってまいります。